愛の聖母園

事業報告NO.39　　平成29年12月1日

社会福祉法人 善き牧者会
児童養護施設 愛の聖母園
〒891-0117 鹿児島市西谷山一丁目1番15号
TEL.099-268-2045 FAX.099-268-2809
E-mail:seiboen@peace.ocn.ne.jp
http://ainoseiboen.jp

ごあいさつ

頭島 光

「愛のかたち」って？

「たとえ、山を動かすほどの完全な信仰を持っていても、愛がなければ、無に等しい」（1コリ 13：2）これは聖パウロのコリントの信徒への手紙の一節です。これほどに衝撃的な言葉が他にあるでしょうか。しかも、この愛こそがすべての人を人として完成させる最高の手段であるとすれば、あなたはどうしますか。今すぐ走っていって、あなたの愛すべき人に愛を伝えるでしょう。夫婦が愛し合い、兄弟姉妹が仲睦まじく過ごし、家族そろって食事をする。そんな家庭がどのくらいあるのだろうか？最高の手段である愛を使わないで、幸せは絶対やってこない。だから、何とかして、もう一度、愛のかたちを作り直して、見せることができればと考えています。このパウロの手紙の中で、さらに続けて愛について語られています。その最初にくる言葉が「愛は忍耐深い」という言葉です。忍耐深いとは何でしょうか。すべてを耐え忍ぶことですか。勿論、それが愛というわけです。確かにそうですね。でも、人間は、いつも欲深くて「あれも、これも欲しい」って全くキリがありません。どこかで見切りをつけて諦めてしまえばいいものを、それがなかなかできないでいます。その余りにも強すぎる我が思いと人の思いとが、ぶつかってしまうと、せっかく愛し合っている者同士の間にも亀裂が入って、そして二人の愛は壊れてしまうのです。

人間は、時々衝動的に動き出すものです。その時の感情は、もはやどんなに立派な理性があっても、止められないものです。そうした気持ちの情動には決して身を任せることなく、攻撃しないで我慢することができれば幸いです。このように耐え忍ぶということは、すべてに対してということではなく、まず自分の心の思いをしばし止めることです。生活という現実の中で、自分の情動、思いをくい止めることは容易なことではありません。しかし、生活の現実には、いつも私以外の誰かがそこにいるのです。その人は、あなたが今日相手にしてあげるべき人なのです。あなたと関係のない人なんていないのです。忍耐するのは、あなたの中の自分勝手な「わたし」に対してする愛の行いなのです。自らに忍耐して優しさを見せることができれば、相手に対する行動的な優しさを発揮することになるのです。この愛のかたちは、相手に対して積極的な善を行うという仕方で現れます。愛は言葉で表現するよりも、行いで示すことなのです。

（社会福祉法人「善き牧者会」理事長）

1年のハイライト

2016

2017

2016年

12月24日　各ホーム・クリスマス パーティー
12月25日　クリスマス会

2017年

1月 1日　元旦の集い
1月 7日　七草祝い
1月18日　新年会
1月21日　小学生錬成会(低学年B.G)
2月18日　高校生錬成会
3月11日　卒業お祝会
3月14日　中学校卒業式
3月17日　幼稚園卒園式
3月19日　学習ボランティア(公文)感謝の会
3月23日　小学校卒業式
4月 6日　小・中学校入学式
4月15日　入・進学お祝会
4月16日　イースター
5月 初旬　ゴールデンウィーク:各ホーム計画
6月24日　小学生錬成会(中・高学年)
7月21日　幼児部会　海水浴
7月24日～25日　小学生Aグループキャンプ
7月26日～27日　小学生Bグループキャンプ
8月 3日～ 5日　高校生キャンプ
8月 7日～ 8日　中学生キャンプ
8月18日　ガーデンパーティー
9月24日　中学校運動会
10月 1日　小学校運動会
10月 6日　十五夜
10月 8日　幼稚園運動会
10月15日　校区体育祭
11月 3日　小学生錬成会(低学年A.G)
11月12日　中学生錬成会

その他 レクリエーション 多数

愛の聖母園理念

社会福祉法人「善き牧者会」及び児童養護施設「愛の聖母園」は、「わたしが来たのは羊が命を受けるため、しかも豊かに受けるためである。わたしはよい羊飼いである。よい羊飼いは羊のために命を捨てる。」(ヨハネ福音書10/10-11)と言われたイエス・キリストの思いを基本理念とする。

施設に入所する子どもたちは、様々な理由により、幼少期における成長に不可欠な家庭での健全な保護と養育・教育の場から一時的に、また長期にわたって疎外されている。職員一同はこうした子どもたちを神から委ねられたものとして、施設の保護者・聖マリアに倣い、やり直しのきかない子どもたちの人生のこの時期を能うかぎり共に歩もうとするものである。

愛の聖母園の職員は、すべての人間が神の似姿として、神によって創造され、かけがえのない者として愛されている存在であり、そこに人間の尊厳があり、その尊厳はいかなる権力によっても侵害されるものではない、というキリスト教的人間観に基づき、またイエス・キリストの小さく弱い人に対する熱い思いや情熱を見習いつつ、愛の奉仕の精神をもって子どもたちと関わるものである。

園の特色

- ●神に愛されてることを知り、感謝の「心」を育む環境
- ●5棟の戸建6～8名の小グループでは、温かい家庭的雰囲気の中で治療的・個別的な関わりを通して安心して伸び伸びと育つように支援
- ●6名定員の地域小規模施設でよりよい家庭的な生活体験
- ●一対一の関わりの中でプレイセラピー、カウンセリングや生活場面面接による心理療法
- ●子どもの養育が一時的に困難な場合、鹿児島市と契約を結んでのショートステイやトワイライトステイ事業を通しての子育て短期支援サービス
- ●町内会や校区の行事に参加したり、地域の子どもたちを園の行事に招待したりして、地域との交流。園の多目的ホールや運動場は地域のニーズのために開放
- ●学習指導(個人)、レクリエーション、ハンドベル、ピアノ、三味線、一時里親、ホームの援助や子どもとの交流、裁縫や清掃作業奉仕、数多いボランティアの方々による協力

園の概要

児童定員	51人
施設形態	小舎
敷地面積	5,769m²
建物面積	2,386m²

入所児童状況

平成28年11月1日現在　入所児童数 ―― 46名

平成28年11月1日～平成29年10月31日 ―― 入所12名　退所10名

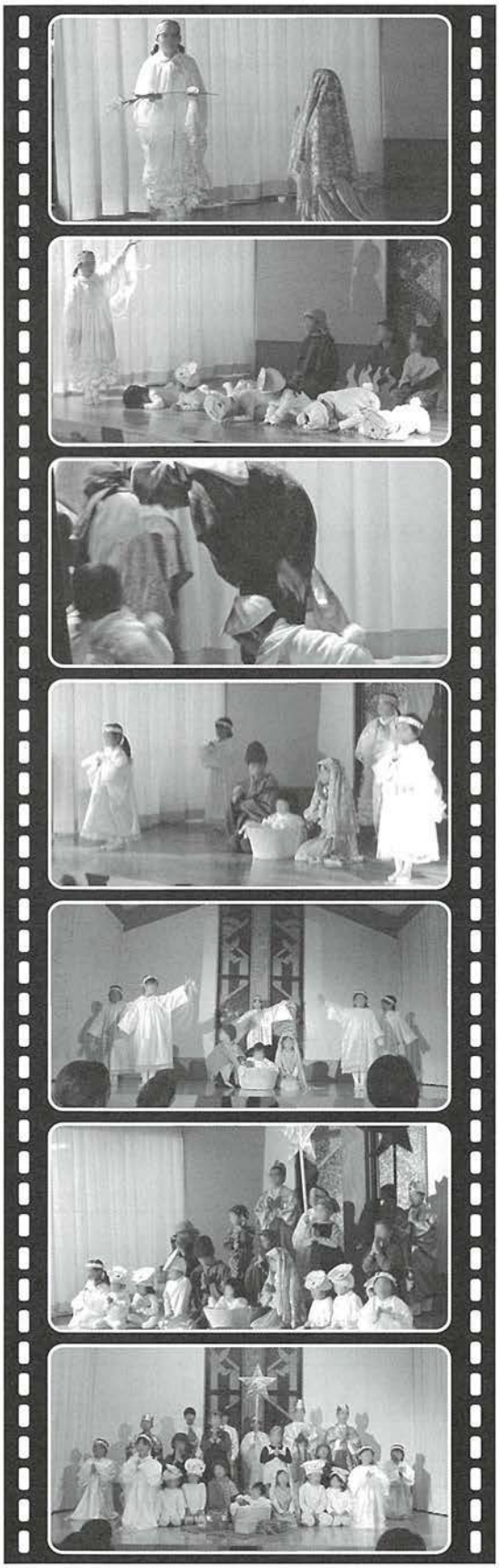
平成29年11月1日現在　入所児童数 ―― 48名

児童・職員の人数編成

平成29年11月1日現在

	未満児	年少児	計	小学生 1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	中学生 1年生	2年生	3年生	計	高校生 1年生	2年生	3年生	その他	計	合計		定員	暫定
男	0	4	4	1	1	1	2	1	2	8	1	3	1	5	1	1	1	0	3	20	48	51	
女	1	4	5	2	1	1	3	1	1	9	2	3	1	6	1	4	2	1	8	28			

施設長	事務長	基幹的職員・職業指導員(主任兼任)・FSW・児童指導員・保育士	事務員	栄養士・調理員等	心理担当	里親支援専門相談員	保育士補助	合計
1	1	29	1	5	1	1	1	40



聖　劇

ガブリエルは、わたしたちに
　たいせつなことをおしえて　くれますね。

しかし、クリスマスの　おはなしは
　つくりばなし　や　おとぎばなし
　　ではないですよ。
ほんとうの　おはなしです。
だから、たとえば　イエスさまが
　うまれた　としを「１ねんめ」とすれば
　　あれから　かぞえて　なんねんぐらいに
　　なるとおもいますか。
そうっ！　２せんねん　あまりですね。

たいせつな、たいせつな
　クリスマス　ですから
　　いまだに　せかいの　おおくのひとびとは
　　まいとし　イエスさまの
　　たんじょうびを　おいわいします。

これから　きみたちは、だんだんと
　おおきく　なっていきます。
ときどき、おにたちのようなものや
　じゃまものにも　あうでしょう。
そのときは、だいてんしガブリエルのことを
　おもいだして　くださいね。
かみさまに　おいのりして、そして
　だいてんしガブリエルのように
　　がんばってください。
きっと、できるから、だいじょうぶ。
わたしも　きみたちのために
　おうえんしておいのりします。

きみのともだちのペトロしんぶより抜粋

楽しみいっぱーい

中学生会のキャンプ

中学2年　K・M

私にとっては初めての中学生会のキャンプでした。前からずっと楽しみにしていて、まだ話した事がない人とも話せるようになりたいと思っていました。

一日目は、ボルダリングをしました。車の中では職員さんとお話が出来ました。ボルダリングは思ったよりも力が必要で、初心者の所でも時間がかかりました。あっという間に時間が過ぎ、昼食をとった後に公園で鬼ごっこをしました。運動が苦手なのですぐに捕まってしまいましたが、楽しかったです。

研修施設に行き荷物を置いた後、二手に分かれてお風呂に入りました。お風呂から上がると、カレーはもうルーを入れるだけだったので、お皿を洗ったりしました。出来たカツカレーは美味しかったです。

夕食後は、部室で他の人と話したり、借りたトランプで色々なゲームをしました。ひと通りゲームが終わると、それぞれでトランプタワーを作ったりもしました。

二日目は、午前中はレクリエーション、午後はプールで遊びました。レクリエーションはドッジボールやバレー、バドミントンでは、友達とラリーを長く続けることが出来ました。プールでは、最初は百メートルほど泳いでいましたが、途中から鬼ごっこやスライダーをして遊びました。

夕食は、ビュッフェ形式のレストランで食べました。色々な人とお話が出来たので嬉しかったです。

中学生会のキャンプは来年で最後なので、来年はもっと楽しめたら良いなと思いました。

楽しかったキャンプでの思い出

小学4年　K・M

キャンプで阿久根大島に行きました。

一日目は、車に二時間位乗ってフェリーの場所に行きました。フェリーに乗って阿久根大島につきました。そして、じゅん備をしました。

次に、海水よくに行きました。たくさん泳いで、楽しかったです。長い時間泳いだので、休けいをしました。そしたら、シカがいました。こわかったです。

休けいが終って、また海に入りました。それで、浮島にのって遊びました。面白かったです。

次に、夜ごはんを食べました。バーベキューをしました。しいたけや、ねぎや、ピーマン、ぶた肉、エビなどを食べました。おいしかったです。

次に、散歩や肝だめしをしました。でも、肝だめしはこわかったので皆で行きました。それでも皆こわくて多数決を取ったら肝だめしをしたいという人がいなかったので肝だめしは中止になりました。うれしかったです。花火を持っていきましたが、できませんでした。なので寝るじゅん備をしました。あまり寝れませんでした。

二日目は、海水よくに行きました。皆でおにごっこをしました。海の中でだったので、泳がないと逃げれなかったけど、おにになる回数が少なかったです。そしたら、園長先生が様子を見に来てました。園長先生がかき氷を買ってくれました。グレープ味でした。おいしかったです。

次に、温泉に行きました。いろんなおふろがありました。

その次に、ごはんを食べに行ってざるうどんを食べました。おいしかったです。楽しい夏の思い出になりました。

楽しみいっぱーい

小学生会キャンプ

小学4年　M・S

一ばく二日で、阿久根大島にキャンプに行きました。ぼくの好きな関ジャニの歌を聞きながら、キャンプ場へむかいました。

最初に海に行きました。皆で、体そうをしてから泳ぎ始めました。うきわを使ってプカプカうかんだり、遠くに投げられたりしました。水が冷たくていい温度でした。また、投げられた時に鼻に水が入っていたかったです。と中で休けいを入れたりして、計一時間半泳ぎスイカ割りもしました。スイカは、割れなかったけど楽しかったです。シカが出てきてビックリしました。

次に、キャンプ場へもどりました。バンガローを三棟かりて、男の子と女の子で分かれました。お風呂に入ってバーベキューのじゅん備をしました木を集めたり、うちわで火をおこしたりしました。肉や野菜、大好きなウインナーを焼いて食べたり、焼きおにぎりを食べたりしました。久しぶりのバーベキューはおいしく楽しくできました。夜は、肝だめしをしました。四班に分かれてしました。暗い所に置いてあるうちわを取ってくるルールでした。ぼくは、五人で行きました。一年生の男の子が、「こわいこわい」と言っていたので、「大丈夫だよ」と声をかけてあげました。道をまちがえて時間はかかったけど、無事にゴールできました。しゅう寝は、四人で仲良く布団をしいて寝ました。友達の寝ぞうが悪くたたかれたり、けられたりして痛かったです。

二日目は、朝ごはんを食べていたら、シカが目の前に来たのでビックリして走りました。シカがぼくをじっと見ていたので食べづらかったです。片付けをしてからまた海水よくへ行きました。楽しかったです。海水よく場からもどってきて、中山温泉に行きました。久しぶりの温泉でした。温かい温泉に入ったり、水風呂に入ったり、電気風呂に入ったりしました。電気風呂では、手がかってに動いたりしてこわかったです。石風呂にも入りました。頭を打ったことがあるので、気を付けながら入りました。一番、石風呂が温かかったです。温泉の後は、夕食を食べに行きました。お寿司とパフェを食べました。その中でも一番おいしかったのは、ソーダパフェでした。来年のキャンプは、五年生なので、手伝いをたくさんして、たくさんごはんを食べて、楽しいキャンプにしたいと思います。

中学生キャンプ

中学2年　T・T

ぼくは、中学生キャンプに行って、とても良いキャンプだと思いました。

台風で色々予定が変わってしまいましたが、ボルダリングでいっぱい筋肉や体を動かせたことが楽しかったです。とても力が必要でした。国分の交流センターでは、半分宿泊学習みたいな感じでしたが、料理を作るのは、良いことで楽しかったです。寝る時間までの間は、トランプで大富豪などのゲームをして遊びました。

2日目は、まずレクリエーションをしました。体ならしに、ドッジボールを一時間ぐらいしました。その後に、バレーを一時間、さらにバドミントンや卓球などをしました。バレーボールでは短時間で、トスなどが出来て楽しめました。バドミントンは、ダブルスやシングルスをしました。卓球は、もっとしたかったです。友達に少し教えてあげました。少し教えただけで、すごく上手くなっていました。とても嬉しかったです。その後は、海ではなかったけど、とても広いプール

楽しみいっぱーい

キャンプで行った海&海豚

高校2年　U・K

高校生になって2回目のキャンプ。今度のキャンプは台風が近くて一日目に海で鬼ごっこなどをして遊びました。三時までみっちりと遊べて疲れました。その後、一度帰ってから風呂で疲れや汗を流して、夕食に行きました。初めて行くお店でした。バイキングには、ジュースやアイスクリーム、かき氷などデザートも沢山あって、ハンバーグやスパゲッティなどがおいしかったです。また行きたいなと思う程、おいしくて色々ありました。

最初は、台風でどうなるか心配でした。海やキャンプ場、フォレストアドベンチャーに行けなかったけど、それを吹き飛ばすくらいボルタリングや施設の体育館でのスポーツやプールなどが楽しかったので、とても良いキャンプだと思いました。今後は、もっと楽しいキャンプにできるように盛り上げていきたいです。

笠沙の海に行ってトイレが汚かった割には海の中はとってもきれいで海底まで見えました。青色・黄色・黒色の魚がいました。きれいな海に行ったのは初めてで感動しました。その日の夜はバーベキューをしました。火おこしをしてもらい自分たちで肉や野菜を焼いて食べました。野菜を焼くのが下手でたくさんピーマンやキャベツを落としてしまい、もったいないことをしてしまいました。夜は、講堂で寝ることになりました。敷布団は重たかったのでタオルケットだけで寝ました。その日の一日はとても楽しい日になってよかったです。

2日目は、イルカランドに行きました。初めて生のイルカを見ました。イルカショーで思ったのは、自分より頭が良いのかもしれないと思ってしまいました。飼育員さんの合図で跳んだりまわったりダンスしたりしていました。イルカは鳴き声がとても高かったりとても大きかったです。そして、さわってないけどツルツルしてそうな感じがしました。今年のキャンプは2回も感動することがありました。海がきれいだったことと、イルカが飼育員さんの合図で動き回っていたことです。たくさんの思い出をこれからも増やしていこうと思います。

夏休み

高校2年　H・Y

私は、七月二十八日からやっと夏休みに入りました。もう高校2年生なので、夏休みはあと1回しかないのかと思うと少しさびしいです。

最初の週では、中学生の体験学習がありました。自分が中学3年生の時を思い出しました。どの子もやっぱり固まってあまり話さないので、どこか新鮮だなと思いました。

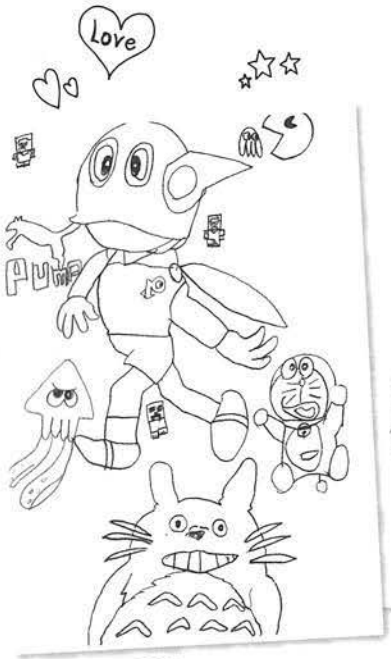
次はキャンプに行きました。台風のおかげで計画がくるってしまいましたが、それはそれで良かったのかなと思いました。とても楽しかったです。

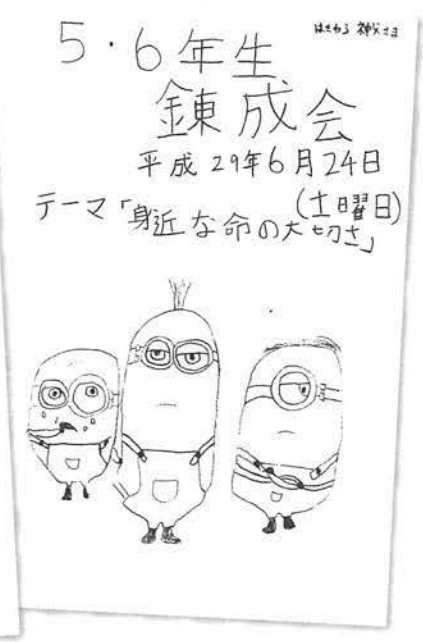
充実した夏休みにしたいです。

錬成会

小学生のテーマは「身近な命の大切さ」

自分達の身近にある、色々なものを通じて考えてみました。私たちのまわりはとっても良いものであふれていることが理解できたようです。





中学生のテーマは「人とのかかわりについて ～これからどのように過ごして行くのか～」

この会を通して、色々なことを考え、より良い方法を学ぶことができました。参加した中学生から次のような感想がありました。

相手の気持ちと
自分の気持ちが つながらなくて、
イライラ したりしたけど
仲間と助け合い
心を一つにして仲良くすれば、
相手の気持ちが分かる。

色々な人との
接し方が
分かった。

人との関わり方について
色々知り楽しかったです。

性格や考えは、
人それぞれなので
一人ひとりを馬鹿にせず、
大切にしたい。

Yes!

苦手な人の良いところを
見つける努力をする。

相手の
気持ちを考え、
優しい心を持つ。

自分のことだけで
はなく、相手のこと
も考えて行動する。

錬成会

高校生のテーマは「自立するということ」

高校三年生は、卒業と同時に社会へ出ていくお友達がいて、自立への道をたどっていきます。道のりは、長く険しく現実の厳しさを感じることが度々あるかもしれません。そんな時に、あなたを支え包んでくれるのは、あたたかな人の言葉や思いやり、声掛け、いたわりなのかもしれません。

錬成会に参加して

高校1年生　K・M

初めて錬成会に参加して自立するということをテーマに勉強しました。自分の知らないことを他の人達に書いてもらい自分をよく知れました。また神父様と共通の話題があり、最後に楽しく話せました。自分が知っている場所だったので行ってみたいです。

あと、朝からいろんな話を聞き自立について細かく知りました。自立と書いて自分で立つという意味を深く知り、これから自分が成長できるようによい機会だったと思います。初めてザビエル教会にも行って聖堂に入りました。中はとてもきれいで感動しました。今日はとても勉強になりました。

錬成会に参加して

高校2年生　T・Y

二月十八日にザビエル教会で高校生会の錬成会がありました。中学生の頃も錬成会はありましたが、中学生の時と比べて明らかに違う所はテーマや話を聴く内容が一気に社会に近づくことだと思います。今回のテーマは「自立するということ」でした。自立は自分で立つと書いて自立と読みます。「自分」と「立つ」はどちらが大切かというと「自分」の方が大切で自分を見つめ返すことでやっと「立つ」ことができるのではないでしょうか。「ジョハリの窓」の作業は自分が知っている自分だけでなく、自分は知らないが他人は知っていることなどを知ることができ、少し自信に繋がった気がします。これからは少しずつ自分を見つめ返すことをしていきたいです。

ハッスル高校3年生

高校生活の思い出

高校3年生　I・F

私が入園してから早くも十年という月日が流れました。今思い返してみるとあっという間に過ぎ去ったという感覚です。

やはり、ここでの生活はふつうの家庭とは大きく違い思い通りにいかない事が多々ありました。しかし、その中でも少なからず思い出はあり、何とも言えないのが今思うところです。

私は、四月より とある工務店へ入社します。今では想像がつきませんが逞しく働いていければ良いなと思っております。

一番不安に思っている事が一人暮らしに関する事です。料理や家事は余り得意な方ではありません。卒園するまでにせめて普通に生きていけるまでに料理や家事が上達するようにしていきたいです。

園での残りの時間もそうですが、学校での友人との時間も考えものです。社会人になれば当たり前ではありますが、今のように自由に遊ぶ機会というものも減ると思います。やるべきことをこなしつつ、友人との時間やプライベートの方も楽しみたいです。

いざ、このように今までの事を振り返り、じっくりと考え思い出を纏めるとなると案外思いつかないところが本音です。園には沢山お世話になりました。立派な社会人になれるようここ、愛の聖母園で学んできたことを生かしたいです。

長い間、面倒を見てくださり有難うございました。

高校生活の思い出

高校3年生　I・F

私は、ここに居て良かったと思います。2才から聖母園に居て、先生達にいっぱい迷惑をかけました!!また聖母園を出たいと思った事もいっぱいありました。しかし、先生達やボランティアの方々のおかげでピアノやダンス、ハンドベルなどの習い事をさせて頂く事ができました。また色々な方々からガーデンパーティや焼肉、ラーメン、数え切れない程のご奉仕をして頂きすごくありがたいなと思いました。一緒に生活してきた年上の人達には色々な相談ができ、頼りになる存在もできました。

そして私は4月からホテルで働く事が決まりました。今は少し不安ですが、仕事を一生懸命頑張って、また聖母園に遊びに来て、成長した姿をお世話になった先生達に見せたいです。

16年間長いようで短かったです。本当にありがとうございました♡

新任職員…インタビュー パート1

新任の方のインタビューを掲載しました。
これからも宜しくお願いします。

保育士　川畑　絵美

愛の聖母園に就職させて頂いてから半年が過ぎました。

私は、正職員として働く前に非常勤として一年程働いていたことがありました。その時は児童養護施設については、事情があって親と暮らせない子ども達が生活をする場所というくらいしか分かっていなく、そこで働く職員がどのような仕事をしているのかまでは何も知らない状態でした。最初の頃は勤務形態に慣れたり仕事を覚えたりすることで精一杯でしたが、非常勤としての一年間で少しずつ慣れていたこともあり、正職員として働き出してからは戸惑いなどはほとんどありませんでした。

半年経った今では、一日の流れも分かり、大変なこともありますがとてもやりがいがあり、子どもの成長を近くで見ることができ、とても充実しています。

保育士　羽山　佳歩

入職してから半年が経ちましたが、まだまだ覚える事が多く勉強の毎日です。仕事内容も子供達と直接関わる以外にも、事務的な作業や清掃など多岐にわたり、経験していない事がまだ沢山あります。子供達への対応に関しては、常に学び合いながら分からない時は先輩職員にアドバイスを頂きながら決断するようにしています。まだあまり余裕はありませんが、就寝時など時間が少しでも取れる時には努めて話をするようにしています。学校のこと、友達のことなど聞き役がほとんどですが、穏やかな毎日が送れるようにこれからも見守りたいと思っています。子供達に教えられ助けられることもあり日々の積み重ねの中で信頼関係ができてゆくのだと感じています。また、学校行事や園外での嬉しそうな笑顔に元気をもらい頑張ろうと思うことができます。難しいこと、大変なこともありますが、子供達と共に育ちながら見守っていきたいと思います。

児童指導員　山野　瑞菜

私が愛の聖母園に入職して、早いもので半年が経過しました。今はまだ、変化のある毎日について行くのがやっとではありますが、子どもや先輩方に恵まれ、充実した日々を送らせて頂いています。

入職した当初は、子ども達との関係も中々縮まらず、近づけたと思ったらまた離れたような気がし、悩みが解決したら、また次の悩みができ、悩んだ時期もありました。

しかし半年経った今、少しずつではありますが、子ども達との関係に変化を感じる機会も増え、また新たな楽しみが増えこの職にやりがいを感じています。

今は一年目で、自分ひとりで出来ることにも限りがあり、子ども達や先輩方に迷惑をかけ、また助けて頂きながらの毎日ですが、子ども達の笑顔の為に、模索しながら、日々過ごしていきたいと思います。

新任職員…インタビュー パート2

児童指導員　有水　徹

就職してから半年が経ちました。まだまだ不慣れな点も多く、失敗することも多いですが、子ども達と楽しい時間を共有できている事に充実感を得て仕事に向かえています。

日々、自分自身の在り方を試されている気がします。子ども達に何を伝えられるのか、自分ができる事はあるのか。子どもにとって大切な時期に一緒に生活をしているからこそ、自分自身の在り方をもっと深く見つめ直していきたいです。今はまだ日々の生活を過ごすことに追われ、正直考えが甘い点があります。先輩方の話を聞いたり、教えて頂きながら、そして自分でも勉強をしながら、焦らずにコツコツと向き合っていきたいです。子どもとのお風呂の時間、食事の時間、寝る時間を大切にして、沢山子どもと話をして、「あなたのことを大切に思っている」というメッセージを伝えられるような職員になれるよう今後も努力していきたいです。

保育士　永徳　沙季

愛の聖母園に就職させて頂いてから、もう半年が経ちました。日々の生活の中で、様々な事を学ばせて頂いています。

就職したての頃は子ども達からお客様だと思われ、触れる事や近づく事を拒否され幼児には大泣きされていて毎日、不安で一杯でした。そんな時先輩職員から「特定の大人と愛着関係ができているからこその行動で、どこまで許してくるのか試しているのだよ」と言って頂き前向きな気持ちになりました。共に過ごす中で少しずつですが、子ども達の中で私でも良い時間が増えてきている事に喜びを感じています。子ども達の何気ない一言や成長を見落とさないよう、応えていけるよう努めていきたいと思います。

これから難しくなると思いますが、情報共有を通して理解を深めながら子ども達が笑顔で過ごせるようにしていきたいです。

保育士　大野　佳恵

今年四月から働かせて頂けることになりました。気がつくと早いことで半年が経ちました。子ども達と生活を共にすることで、私自身日々成長させてもらっているなと実感しております。新人職員であるため、全てが初めての経験で不安な日々もありますが職員の方々の手厚い御指導の元、頑張ることができております。時には、子ども達から教わることもあります。勿論、生活を共にする中で決して楽しい事ばかりではありませんが、子ども達と向き合い関わることで少しずつではありますが、お互いを知ることが出来てきました。何気ない日々の会話の中で冗談を言えたり、少しふざけてみたりと楽しい瞬間も増え、辛いことがあってもやりがいを感じております。まだまだ出来ることの幅が狭くはありますが、経験を通して一つでも多くのことを吸収して日々精進していく気持ちでこれからも頑張って参ります。

2017年12月

ニュース・レター

愛の聖母園を支える会
会　長：ホセ・デルコス
（ラ・サール学園 理事長）
運 営 委 員 一 同

「愛の聖母園を支える会」を2000年7月に町内会の有志の方々・カトリック教会関係の有志の方々によって発足され、17年の歳月になりました。

この間に、沢山の善意の方々が正会員・ローソク会員となって支えてくださっております。今年度は、この支える会の発足時から物心両面で支えて下さっておられました101歳の会員の方との、永遠のお別れという寂しい出来事がありました。この方が、神様のお側で永遠に憩われます様にお祈り申し上げております。

活動内容は、高校卒業と同時に、進学して専門の学びを深めていく子供・就職の場に恵まれ、社会に貢献する卒園生たちも多くなってきました。とっても良い事だと思います。他には、毎年同じようなことですが、自動車運転の免許取得費用・就職のための準備の支援、部活動のための支援、などとなっております。

善意の方々からのご支援・ご協力は、愛の聖母園の子ども達が将来に向かって自立し、夢と希望を持って生きていけるようにと願って活動いたしております。

最後になりましたが、皆様が益々お元気でご活躍できますよう、心からお祈りさせて頂きます。

今年もよろしくお願いします

入会ご希望の方、詳細をお知りになりたい方は下記へご連絡下さい。

「愛の聖母園を支える会」事務局
〒890-0081　鹿児島市唐湊2丁目10-2
レデンプトール宣教修道女会内
TEL 099-253-6658　FAX 099-253-6651

【 郵便振込み口座 】
番号　01760—0—55679
口座名義　愛の聖母園を支える会

ボランティア ひろば Thank you

- 様々な奉仕：シスター安藤克子 シスターカタリナ 野田ふよこさま
- 三味線：堀脇三知世 さま
- 子どもとの交流：芝原慶次・ゆかりさま 森元晶行さま ふれあいサークルのみなさま
- ピアノ：徳田昭子 さま
- 学習指導：吉川百合子さま ふれあいサークルのみなさま ブラザーアイキエスメリ
- ハンドベル：安楽　晃さま
- 一時里親：秋丸ミナ子さま 職員のご家族のみなさま

お小遣いに感謝!!

Thank you!

ご支援・ご協力に感謝（平成28年10月～平成29年10月　敬称略・50音順）

●愛の聖母園を支える会
　代表　ホセ・デルコス
　会員一同
●青山ひとみ
●㈱アバマンショップネットワーク
●㈱イエロースタジオ
●イケダ有志会
●伊地知　美千代
●伊勢　正也
●井手上　望
●井手上　貴子
●井上　正治
●岩崎　正幸
●岩瀬　裕
●臼山　剛
●打越　政継
●浦田　和美
●㈱エイチエムジャパン
　代表取締役　許　重九
●㈱エフワン　五十嵐　文子
●エムザス指宿店
●奥野　晴美
●カーブスイオンモール鹿児島店
●カーブスたわわタウン谷山店
●柿元　行夫
●鹿児島維新ライオンズクラブ
●鹿児島かん水養魚協会
●鹿児島県共同募金会
●鹿児島県里親会
●鹿児島県食肉事業協同組合連合会
●鹿児島サザンウインドロータリークラブ
●鹿児島さつまライオンズクラブ　中田
●鹿児島純心女子短期大学　学生会
●鹿児島谷山ライオンズクラブ
●鹿児島荷役海陸運輸㈱　杉木　和子
●鹿児島まぐろ同友会　会長　上夷　和輝
●叶　美樹
●川上　満代
●川下　智子
●川畑　恵
●河南　和子
●河南　勝
●ＮＰＯ法人キッズドリームパートナーズ
●九州アイスクリーム協会
●㈱クレヨンハウスmori-moriプロジェクト
●河野　博
●御所保育園
●酒井　理香
●さくらモータース　代表　是枝　信義
●佐藤食品工業㈲
●ＪＡバンク鹿児島
●塩倉　嘉代子
●㈱しか屋
●下池　浩二
●城山観光ホテル
●星毅会　会長　池平　陽一
●芝原　慶次
●㈱樹楽　榊木　春幸
●精療クリニック小林　小林　彰・和
●全国シャンメリー協同組合
●園田　にしき
●第一生命保険㈱
　鹿児島営業職支部　鹿児島内勤職支部
●㈱高岡屋　上村　清二
●高嶺　澄子
●田代　伸子
●㈲ダスカジャパンクァウテモック
●立石　聖子
●田中整形外科　田中　源幸
●田中ひふ科医院
●谷山校区婦人会
●谷山中学校職員一同
●谷山南ゆらら子ども劇場
●谷山善き牧者幼稚園
●玉利　慎一郎
●タリーズコーヒージャパン㈱
●地方紙正月連合企画係　濱田　大輝
●中央共同募金会基金事業部
●知覧　泰児・春菜
●塚野　愛
●鶴田　晃之
●Ｄｅａｎｓ　Ｅｎｇｌｉｓｈ　Ｓｃｈｏｏｌ
●ＴＩＭＡＸ新栄店
●土井　淳史
●遠竹　勝子
●徳田　けい子
●鳥越　九十雄
●中瀬小児科　中瀬　正治
●長野　浩二
●なごみ苑
●西谷山校区社会福祉協議会　松元　武弘
●西谷山校区女性連絡協議会
●西谷山小学校職員一同
●日本鏡餅組合　理事長　樋口　元剛
●日本ガスエネルギー㈱　竹川
●野間口　華奈
●㈱ハピネットマーケティング大阪ＳＲ-２
　青木
●パパピアット　松木　美香
●濱田　深志
●浜之上商店
●平林脳神経外科　平林　和明
●フィリップモリスジャパン㈱
●藤崎　美代子
●フードバンクかごしま
●福富歯科医院
●富士ゼロックス鹿児島㈱　白石　幸伸
●ＮＰＯ法人ＮＧＯフク　ふらっとホーム
●プレム・ラフィット日本事務局合同会社文屋
●弁護士法人れいめい総合法律事務所
　中馬　直子
●ほっともっと
●増山　忠男
●㈲まつむら
●松元　拓也
●満正苑
●㈱Ｍｉｓｕｍｉ
●南　奈津美
●宮井　紀行
●㈱ムジャキフーズ
●明光クリーニング西谷山店　平田　ミネ子
●明治安田生命保険相互会社
●森　明仁
●やくし乳児院　上別府　真由美
●山口　泉
●山口　政行
●山下眼科クリニック
●山下　タエコ
●㈱ユーコーラッキー新栄店
●横山　善子
●楽天㈱
●ラ・サール学園
●ラ・サール学園　母の会
●㈱リッツ
●レデンプトール宣教修道女会
●六反田　博
●㈲六葉煙火
●若松　栄作
●匿名の方々
●取引業者の方々
●入所児童保護者・親族の方々

＊万一記載漏れや誤字のあった場合は、深くお詫び申し上げます。

感謝！ご招待
たくさんの方々の
愛に囲まれて！

▲お花のご奉仕

▲お寿司のご奉仕

▲ピアノ演奏のご奉仕

▲海水浴

▲たこ焼きのご奉仕

▲着付けのご奉仕

▲水族館への遠足

▲卒業お祝い会

▲中学生キャンプにて

国の新たな社会的養育に関する検討会は、「新しい養育ビジョン」をとりまとめました。その内容の中で、“子どもの意見表明権の保障、アドボケイト制度の構築”の部分を抜粋いたします。

代替養育においては、子どもの意見表明権の保障が重要である。また、担当のソーシャルワーカーが特定した代替養育の場が子どもにとって必要かつ適切なものであるか否かについて聴取されるべきである。子どもの意見表明権を保障するために、子どもの年齢にかかわらず、子どもの希望を踏まえ、必要に応じてアドボケイトをつける制度が求められる。

現在でも、親権を行う者のない子どもや親権を行使することが不可能な場合等についてその福祉のため必要があるときは、児童相談所は家庭裁判所に対し未成年後見人の選任を請求しなければならないと規定している。実際は児童相談所長や施設長が親権代行を行っている場合もある。この場合、措置権者やサービス提供をしている者が親権を代行するというのは、アドボカシーの観点からは適切と言えず、少なくとも親権を行う者等がない子ども等については未成年後見人の選任を積極的に行うべきである。(新しい養育ビジョンP37抜粋)

アドボカシーの観点より、措置する側と措置される側の長が親権の代行を行うことが適切でないのであれば、それに替る意見表明権の保障を担えるものの構築を行うことが当面の課題ではないかと考えます。根本的な部分で、措置以前の段階で最善のアドボケイトの在り方が重要であると思います。

皆様のご支援・ご協力に感謝致します。

愛の聖母園　園長　小牟田 久美子

愛の聖母園　課題解決委員会

課題解決責任者　小牟田　久美子
課題解決受付担当者　川原園　淳　一（児童指導員、社会福祉士）
町　田　照　子（保育士）
第三者委員　岡　田　洋　一（鹿児島国際大学准教授）
川　下　智　子（医師）
岩　崎　正　幸（ラ・サール中・高校教諭）

課題解決受付件数　平成29年（H28年12月よりH29年11月まで）0件
愛の聖母園や子どものことでご相談やご意見がございましたら、ご遠慮なくお申し出ください。

情報公開しております
全国経営協ホームページより「会員法人情報公開ページ」にて閲覧できます